

環境マネジメントシステム導入報告書

( 宛 先 ) 京 都 市 長	平成24年 7月26日
報告者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都市右京区西院溝崎町21	報告者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名） ローム株式会社 代表取締役社長 澤村 諭

京都市地球温暖化対策条例第22条第2項の規定により報告します。	
環境マネジメントシステムの名称	ISO14001
適用範囲	ローム株式会社本社内のLSI生産本部、調達部、ディスクリート生産本部、管理本部環境管理部、LSI商品開発本部の関係する項目。
導入年月日	1998年 5月29日
認証番号	JQA-EM0170
基本方針	われわれは、つねに地球環境保全に配慮し、人類の健康的な存続と企業の恒久的な繁栄に貢献するものとする。 1. 省エネルギーをすべての企業活動で創意工夫し徹底する。 2. 環境配慮型製品を開発し、製品のライフサイクルを通して環境負荷の最小化を追求する。 3. 材料・副資材の調達や製品の購入は、より環境負荷の少ないものを優先する。 4. 国内外の環境法規制や地域協定を遵守する。 5. 生活環境や地球環境に配慮する社員の育成と関係者の啓発に努める。 6. 地域環境への貢献や環境情報の適切な開示により社会との健全な連携を図る。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	1. 拠点におけるCO2対策 ①CO2排出量を2011年度に2010年度実績より1%削減する。 ②CO2排出量原単位を2011年度に2010年度実績より2%削減する。 ③温室効果ガス（PFCs、SF6等）排出量を2011年度に1995年度実績より14%以上削減する。 ④IT部門での省エネを推進し2011年度に2009年度実績より1%削減する。 以下の項目についての細目は省略 2. 製品のライフサイクルにおけるCO2対策 3. 環境負荷の削減 4. 資源の有効活用
目標を達成するための取組の内容	主要な取り組みを以下に示します。 1. 拠点におけるCO2対策 ・ドライエッチング装置省エネ ・半研3・4階設備稼働調整 ・オフィスの省エネ活動 ・PFC使用量の監視 2. 製品のライフサイクルにおけるCO2対策 ・環境貢献度調査表の活用 3. 環境負荷の削減 ・PRTTR対象物質の取扱量原単位の削減 ・VOC排出量の削減 4. 資源の有効活用 ・ゼロエミッションの達成（再生資源化率99%以上） ・廃棄物排出量原単位の削減
目標を達成するための取組の進捗状況	各項目の活動を実施完了。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	上記目標に対し 1. 拠点におけるCO2対策 【目標】②、③、④は達成、①は未達成。 2. 製品のライフサイクルにおけるCO2対策 【目標】①-2達成、①-1、②は未達成 3. 環境負荷の削減 【目標】①、②、③ともに達成 4. 資源の有効活用 【目標】①は達成（②は非該当）③、④は未達成
事業活動に係る法令の遵守の状況	遵守状況に問題はございません。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	2011年度審査結果は以下の通り ストロングポイント：1件、グッドポイント：2件 カテゴリーA：0件、カテゴリーB：0件改善の機会：7件

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。